

各位

東京都八王子市美山町2161番地21  
株式会社菊池製作所  
代表取締役社長 菊池 功  
(コード番号：3444)

問合せ先 取締役経営企画部長 乙川 直隆  
電話 042-651-6093

平成29年4月期 第2四半期（累計）における業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成28年6月17日に公表いたしました平成29年4月期第2四半期（平成28年5月1日～平成28年10月31日）の連結業績予想及び個別業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年4月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,310	△114	△64	△14	△1.15
実績(B)	2,289	△636	△590	△377	△30.63
増減額(B-A)	△1,020	△522	△526	△363	—
増減率(%)	△30.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年4月期第2四半期)	2,786	△362	△396	△164	△13.55

2. 平成29年4月期第2四半期（累計）個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,850	△70	△21	△1.73
実績(B)	1,945	△515	△385	△31.26
増減額(B-A)	△904	△445	△364	—
増減率(%)	△31.7	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年4月期第2四半期)	2,410	△362	△253	△20.67

3. 差異の理由

当第2四半期（累計）の業績において、既存加工事業の量産は堅調に推移したものの、試作・金型は情報通信機器、精密電子機器等の加工分野の受注が期初の想定を大きく下回った結果、差異が発生いたしました。これは、当該分野の市場における製品消費の落ち込みに連動した開発規模の縮小が主な要因であります。また、新規分野であるロボット事業は、主力のマッスルーツが介護分野向けの販売において、上期に見込んでいた案件が下期にずれ込んだため、差異が発生いたしました。

試作・金型の利益面については、市場規模の縮小に伴い価格競争が激化するとともに、板金や切削などのこれまで高利益を獲得できていた加工分野の受注が特に低迷したことで、全体の利益が低下していることから差異が発生いたしました。

その結果、連結業績ならびに個別業績において、売上高および利益は当初予想を下回る結果となりました。

なお、連結通期業績予想及び個別通期業績予想については、平成28年12月9日に予想数値の変更を公表しております。

以 上